

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動規範）

- 1 私たちは、子どもたちを守り育てます。
- 2 私たちは、法令を遵守します。
- 3 私たちは、不祥事を許しません。
- 4 私たちは、地域に開かれた学校にします。

不祥事根絶のための行動計画

三次市立酒河小学校

区分	本校の状況	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の 規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○各種研修等により、不祥事に対する当事者意識を持った教職員が増えている。 ○個人情報に対する認識、管理意識が十分とは言えない。 ○近年、交通事故事案が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○服務研修をはじめ、不祥事防止研修をより体験的・具体的な方法で行い、研修効果が実感できるものにする。 ○個人情報の扱いに留意し、個人情報の紛失、漏えいを起こさない。 ○教育公務員としての自覚を持ち、交通法規を守り、事故を起こさない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ロールプレイやグループ討議、決意の記入や具体的な事実に基づく研修等、研修方法の更なる改善を行う。特に実際に起きた不祥事事案を研修で扱い、自分や自校の現状を振り返る研修を行う。 ○できるだけ全職員が一人1回以上の研修担当となって研修を実施する。 ○机上の整理、文書保管について注意喚起する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間計画作成（年度初） ○情報交流（毎研修時）
学校組織としての 不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○お互いが感じていることを職員同士が出し合える雰囲気になりつつある。おかしいことを気軽に伝えあえる雰囲気づくりに更に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○不祥事を絶対に生起させないという強い意志を持って日々の職務に取り組む。 ○些細なことであっても、おかしいなと感じたことを気軽に指摘し合える職員集団をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的に様々な情報を職員間で共有できる体制を整備する。 ○職員間で、何でも言い合える学校風土をつくる。 ○暮会等で不祥事につながる事案がないか点検し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○観察（日常的に） ○情報交流（朝会・暮会時）
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○相談の件数は年々増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「教育相談窓口」「体罰、セクハラ相談窓口」の認知度を上げ、相談しやすい体制をつくる。 ○職員や児童の面談を定期的に設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○掲示物・通信等による保護者・児童への窓口の周知を継続して行う。 ○児童・保護者・職員から「体罰」「セクハラ」「パワハラ」等に係るアンケート調査を行う。 ○プライバシーに配慮しながら状況等を把握しサポートやアドバイスを行う。 ○スクールカウンセラー等との細やかな連携を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりに毎月掲載 ○アンケート実施（毎学期1回） ○アンケート結果をもとにした面談実施（毎学期1回）